

会 議 録

審議会等名	平成 29 年度 第 1 回三条市文化芸術振興に関する懇談会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 29 年 8 月 30 日（水） 午後 7 時から 8 時 20 分		
開催場所	中央公民館 第 2 会議室	傍聴者	無
		報道機関	無
出席者氏名	委 員 丸山正夫会長、花柳雅鶴委員、西村邦明委員、櫻井綾委員、岡村守委員、石井正文委員、八幡雅絵委員、丸山鉄兵委員、金子達雄委員、鶴巻純子委員 三条市 金子生涯学習課長、齋藤生涯学習課長補佐、阿部生涯学習推進係長、春日一般任用主事		
協議題	(1)平成 29 年度文化芸術振興事業の実施状況について (2)文化振興基金の活用状況について		
生涯学習課長	あいさつ		
自己紹介	委員、事務局自己紹介		
丸山会長	議題（1）について説明をお願いします。		
阿部係長	（平成 29 年度文化芸術事業の実施状況について説明）		
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、御質問、御意見をお願いしたい。		
鶴巻委員	若手芸術家支援事業について、支援対象者の年齢は 50 代までという説明があったが、私の認識では 50 才位までと捉えていた。どういうことか。		
金子課長	若手芸術家支援事業については、おおむね 50 才位までと説明を訂正させていただきたい。		
西村委員	きっかけの 1 歩事業の中央公民館での 6 月 10 日のバイオリンコンサートで入場者数が 420 人とある。私が行った時は入場券の配布は終了していて断られた。実質 500 人入るから 80 人は来なかったことになる。当日、キャンセルがあれば来た人を入れるとか、そういう配慮が無かったのが残念である。		
金子課長	入場整理券ということで 500 枚を用意した。 当日、午後 2 時の開場で正午過ぎに土砂降りの雨が降った。皆さんが出る時間に激しい雨が降ったため、出足が鈍ったと思う。		
西村委員	普通こういうものにはキャンセル待ちがある。問い合わせ順にキャンセル待ちを受け付ける形にさせていただきたい。		
金子課長	入場整理券の配布枚数 500 枚を 550 枚と訂正させていただきたい。		
西村委員	多めに配ったとしても（入場無料の場合は）、だいたい八掛けなのでもったいない。		
櫻井委員	青少年文化振興事業のわくわく文化未来塾の最少定員は 5 人となっているが、その理由を伺いたい。		
金子課長	わくわく文化未来塾は、先生方をお願いして開催している。先生方に支払う謝礼金を考えると、ある程度の生徒数で開催をしたいので、最低でも 5 人は集まっていた上で実施している。		
岡村委員	市民ギャラリーについて、趣旨はいい趣旨でやっていると思う。三		

	<p>条庁舎や下田公民館は分からないが、栄公民館は廊下にあるパネルに展示してあるだけでほかに何も無い。できれば小さい部屋、昔使っていた図書室などに専門に展示した方がよい。</p>
金子課長	<p>市民ギャラリーは、部屋ではなく来館者が気軽に見られる場所での設置を考えている。</p> <p>三条地域であれば三条庁舎の市民窓口課前のギャラリー、栄公民館はギャラリーが無いので廊下にパネルを立てて展示している。下田公民館では階段の壁を利用している。貸館用の部屋での展示は再検討が必要である。</p>
岡村委員	<p>現在は、奥まった隅の方にある。部屋が塞がっていれば仕方がないが、空いているのであれば使った方が良くと思う。</p>
金子委員	<p>若手芸術家支援事業について、せっかく何十万円も出してやっているのに、作品を市が買い取るか寄付してもらい、目立つところに展示してほしい。また、過去の支援対象者の現在の活躍状況も伝えてほしい。それから、美術、書道ばかりでなく音楽の方も取り上げていただきたい。</p>
金子課長	<p>若手芸術家支援事業については、懇談会でも翌年の対象者についてお話ししている。若手の50歳代前後で活躍されている方は、書道の方が多かった。今後、分野の広げ方についても事務局で検討したい。また、この事業の継続について、対象者の有無も含めて皆様から御意見をいただきながら進めていきたい。</p>
櫻井委員	<p>一番星育成事業について、新潟大学教授と新潟県立大学講師を先生として、子どもたちを育てるソルフェージュ教室を行ったが、広報が遅かったため、5名という少ない人数だった。ソルフェージュは音楽学校に行く生徒だけを育てるのではなく、学校の吹奏楽部の生徒とか、全生徒の音楽の授業に精通する内容である。今回、リズム活動、リトミックという専門的なリズムの勉強とか音感遊びを取り入れたレッスンをし、子どもたちが随分と音を取れるようになった。3日間で随分と成果があった。</p> <p>この事業をお手伝いして思うのは、書類が難しい。そこに1つハードルがあって、申し込みにくいという実際の声を教室の先生や学校の先生から伺った。来年度以降も続くのであれば、その辺を大きな検討材料にしていただきたい。</p> <p>それから、是非学校にも協力をいただき、学校単位の申込みもできるよう検討していただきたい。</p> <p>ピアノ教室に関しても、今年度は1人という少ない人数だったが、一番星を育てるということで開講が決まった。</p> <p>難しいコンクールの成果等を小学生に求めるのは酷なことで、もう少しその在り方を検討していく話を事務局とも進めている。オーディションという意味合いを深く考えていただき、その子の実力を真に問う方向に持っていければと思う。</p> <p>それから、青少年の文化振興補助金ということで私が指導する県央ジュニア合唱団という県央で唯一の子どもたちだけの合唱団ということで補助金を頂戴している。状況としては、今やっと22名という少し大きい人数になってきた。これを機に、初めて3月16日にこちらの公</p>

	<p>民館の大ホールをお借りして、「ブレーメン虹色キッズコンサート」という主催事業をさせていただく。皆様から頂戴している補助金を有効活用させていただき、ますます県央からこういう子どもたちの活動を発信していけるよう頑張っ指導していきたいと思う。皆様の御協力のお陰なので、本当にありがたい。</p>
金子課長	<p>今年、文化芸術の一番星事業のピアノ教室は1名の申し込みだった。その生徒さんは3年連続で申し込まれ、一番星コンサートの出演実績もあり、1名でもやろうというお子様がいれば一番星の子どもを育てていこうということで開催させていただいた。</p> <p>また、ソルフェージュ教室については、広報の時間が少なかった。ピアノよりソルフェージュ教室の方が幅広く勉強できると思う。ソルフェージュ教室及び一番星事業全体についても、進め方、やり方についても、検討していく必要がある。来年度の実施も見据えて再検討になるかもしれない。</p> <p>県央ジュニア合唱団については、この会の中で唯一子どもたちへの文化芸術を支援する団体ということで何かできないかという御意見があり、県央ジュニア合唱団等への補助金を計画させていただいた。</p>
花柳委員	<p>わくわく文化未来塾の日本舞踊を教えている。子どもの数が減っているからか、去年より開講数も参加者数も減っている。事業を6年間続けてきて、みんなに知れ渡るように成果をアピールする事業を認めってもらうのは難しいのかと思う。今回は、公民館から芸能まつりにわくわく文化未来塾の踊りの参加の依頼が来たが、私としては、わくわく文化未来塾全体の卒業公演として3月に発表の場を設けてほしい。今回、踊りが舞台に立たせてもらうので、見ていただき成果を知っていただければ嬉しい。</p>
金子課長	<p>以前から、花柳委員から全体的なわくわく文化未来塾の発表会という御意見をいただいていた。年度末全部の教室の発表の機会を設けるということは、なかなか難しい。書道、陶芸、生花については市展で発表している。いろいろな機会を通じて成果を発表することも1つの方法で、公民館芸能まつりを発表の機会として出演していただきたい。</p> <p>また、今回わくわく文化未来塾に関しては、開催できない講座が多かった。</p> <p>今まで未開催の教室は3教室か4教室だった。子どもの減少、もしくは、今までやってきた子どもたちの学年が上がって、時間が取れなくなったのかもしれない。これについては、もう少し分析が必要である。ピーアールについてももっと強化する必要がある。</p>
鶴巻委員	<p>一番星事業の講師のメンバーとして、櫻井先生とあと2名というお話だった。</p>
櫻井委員	<p>新潟大学から1人と私が県立大学から出させていただいている。</p>
鶴巻委員	<p>そうすると2名というのは美術の方が入っていないのではないか。</p>
櫻井委員	<p>それはソルフェージュ教室だけの話である。</p>
鶴巻委員	<p>芸術文化一番星事業の講師としての説明であったのではないか。</p>
金子課長	<p>ソルフェージュ教室の説明だったので補足させていただく。 デッサン教室の件だが、今まで武蔵美術大学の先生に講師をお願い</p>

	<p>していたが、今回は都合が付かず急遽若手芸術家支援事業に参加していただいた鶴巻貴子さんから御紹介いただき、日本大学芸術学部の3人の先生に御協力いただいてデッサン教室を開催した。夏に行われている十日町の大地の芸術祭に日大芸術学部の作品展示もあるので、希望する受講生は会場に行って、実際の物を見て講師の先生から指導していただきたいと思っている。</p>
鶴巻委員	<p>参加された先生方から、三条市の一番星事業は素晴らしいと絶賛された。良い事業なので是非続けてほしいと言われた。 デッサン教室は昨年14人で今年7人だが、定員はあるのか伺いたい。</p>
金子課長	<p>デッサン教室は部屋の大きさの都合で、定員は15人で募集させていただいている。今回は日程の都合等もあったのか7人での開催だった。</p>
鶴巻委員	<p>対象は三条市在住の子どもたちだが、住所は市外で市内の高校に通学している場合は参加する資格はあるのか。現在、定員の半分なので枠を広げてはどうか。</p>
金子課長	<p>市の税金を使っている事業なので、三条市在住の子どもたちを対象としたい。文化芸術の一番星事業の補助金も三条市出身の子どもたちを対象としていることから、市出身が対象ということで進めていきたい。</p>
丸山委員長	<p>花柳委員からわくわく文化未来塾の参加者が減っているとあったが、募集はどのようにしているのか。学校にもチラシは配っているのか。</p>
金子課長	<p>申込のチラシを学校に配っている。毎年申し込む方もいるが、何年かしてやめる場合もある。一番は学校を通じての募集である。中央公民館の教室が多いが、栄、下田公民館地域でも開催できるようにしていきたい。</p>
金子委員	<p>高校には来ているか。</p>
金子課長	<p>市内の小中学生に配布しており、高校には配っていない。</p>
金子委員	<p>私は長岡市民なので、三条市の市政だよりを見る機会がない。この会を通じてこの事業を知った。</p>
石井委員	<p>チラシは確かに頂いているが、あまりにも幅広くて、子どもたちには内容が見えにくく、少し分かりにくい。参加する子どもたちは、親が勧めたとか、ほかの子どもたちがやっているとかで参加しているので、内容がもう少し見えると幾らか違うのかなと思う。</p>
八幡委員	<p>このチラシは一覧表になっていてよく分からない。中央公民館が多いが、場所ごとにして自分の通いやすい所とか分かるとよい。学校にこのチラシが来ているが、生徒達が見ているか分からない。4月21日の締切りは、考える時間が無いという職員がいた。周知の仕方とか、締切りを過ぎて人数が少なければ開講されないの、もう少しゆとりを持った働きかけがあってもよい。</p>
金子課長	<p>開催時期を遅らすことができるか検討したい。人数が足りない中での開始は難しいと思っている。</p>
櫻井委員	<p>みんな6月からだから、締切りが4月21日というのは早いと思う。</p>

丸山委員長	事務的にはどうか？
金子課長	事務的などところも併せて調整し、なるべく開催していきたい。
丸山委員長	広報さんじょうにも掲載しているか？
金子課長	もちろん、4月16日号に掲載している。
西村委員	3月に募集はできないか？
金子課長	予算的に議会議決後の4月1日からの募集を考えている。
石井委員	年度途中からの参加はできないか。
金子課長	開催し、人数に余裕がある教室であれば途中参加できる。
石井委員	そういうことをアピールするといひ。
丸山会長	議題（2）について説明をお願いします。
阿部係長	（文化振興基金の活用状況について説明）
西村委員	この基金は元々文化会館を作ってもらいたいという方々の厚い有志で集まった寄付金だった。今回、三条市の新複合施設にホールが作られる。相当いいホールができるということで、市に櫻井委員と私が出掛けてどんなピアノが入るのか尋ねた。だいたい1,000万円程度のものを考えているとのことだった。私が思うに、この基金を使ってしっかりしたピアノを新しくできる複合施設に購入してはいかがか。取って付けたお金の使い方ではなく、それこそ、本来の趣旨に合ったお金の使い方ではないかと思う。この場でいろんな団体から御議論いただき、それが参考意見ではなくみんなの総意になるのかははっきりとこの場でお決めいただきたい。
丸山委員長	元々文化会館建設のための寄付金であったが、文化会館が作れないためそのほかのことに使っているが、新施設でホールができるということなので、西村委員の御意見はいかがか。
花柳委員	建設費にそういう付随的なものは含まれていないのか。
金子課長	大まかな施設の備品は考えている。具体的なものについては、施設的设计ができてからの積み上げになる。
西村委員	今、中央公民館に置いてあるスタインウェイはふるさと創生一億円事業で購入した。私の記憶では1,250万円だったと思う。新施設には、その程度のもを入れる考えのようだ。ただ、そのクラスでは…せつかくあれだけのホールを作るのだから、もっと素敵な内外からあのピアノを弾きたいと言われる備品を置いていただきたい。そうするとだいたい2,000万円以上のピアノになってくる。もし、今1千何百万円という予算があるのであれば、基金を上乗せして購入するとか方法はいくらでもある。
丸山委員長	平成31年12月供用開始でまだ時間はある。今後この会議で揉んでもいいのではないか。
西村委員	この1年で揉まないと、注文に1年掛かる。搬入や議会の承認等も必要である。そういうことを考えると1年位必要である。
金子課長	ピアノのことで御意見をいただいた。新しくできる文化・スポーツの複合施設については、ホールの備品は音響の素晴らしいものということで検討している。ある程度の備品を整備していく必要である。 文化振興基金の条例に、文化振興に資する事業の推進及び文化施設の整備を図るために文化振興基金を設置するとなっている。そういう

	<p>ことを含めた中で総合的に検討していきたい。</p> <p>過去に文化振興基金の使用については、東公民館ができた平成 22 年に公民館管理費ということで 300 万円程、東公民館のピアノ購入費に使われた。</p>
丸山会長	これからの議題ということで、次の機会に載せていただきたい。
鶴巻委員	この文化振興基金の表を見ると、若手芸術家支援事業の経費が段々増えている。今年の事業計画だと 70 万円某である。予算を多く取るのはいいことだが、昨年とは随分差がある。それはなぜか。
金子課長	今までは平面的な展示が多かったが、今回は立体的な展示である。その関係で費用が掛かるのではないかと思う。
鶴巻委員	この方の展示に対してはこれ位の予算ということよりも、この事業にはいくらの予算を付けるということにしないと、作家によって差があるのはいかがなものか。
金子委員	こちらは 29 年度の予算で、毎年 70 万円程度予算は組んでおり、実際の支出は前の方に載っている。
西村委員	芸術鑑賞ツアー事業は年々金額が上がっている。今年は 170 万円。当初は 80 万円、次は 120 万円、次は 130 万円とどんどん増えている。今日のように不景気では、一般市民は行けるのかと思う。お金に余裕がある人達が利用していると思う。この事業の在り方は疑問である。三条市民の平均所得額がどんどん下がっている。こういうものにお金を振り分ける層は、ピラミッドの上の方である。170 万円、10 年経てばピアノが買える。
金子課長	<p>芸術鑑賞ツアーについては、当初は回数が少なかったが、毎年のように少しずつ増えている。初回が 5 回、2 回目は 9 回で 120 万円、ここ 4、5 年は 8 回であった。バスの運行で、2、3 年前バスの事故があり、バスの運行規定が変わった。運転手を 2 人付ける等規定が変わった中でバス料金の値上がりがあり、回数を 9 回から 8 回に減らしている。</p> <p>基金の目的である文化会館ができない中で、見に行く機会がない舞台等を見る機会を作ろうという事業であり、これからも開催していきたい。今回いただいた御意見については、上の方にもお話をさせていただきたい。</p>
石井委員	行き先は、若い人も結構興味を持っているものもある。ただ平日が多い。働いている人は、仕事を休んで行くのはなかなか難しい。私の知り合いでも行きたいけど、平日だから行けないという声もあるので検討していただきたい。
金子課長	それについても検討しているが、なかなか人気のあるものの土日のチケットの確保が難しい。休日しか参加できない人もいるので、なるべく多くの方が参加できるように対応していきたい。
丸山会長	議題（3）について説明をお願いします。
齋藤補佐	（国民文化祭について説明）
西村委員	独自事業の分野別のフェスティバルというのは、市町村となっているが、市がお金を出すのか？
金子課長	独自事業になっているので、市が実践してきた事業の拡充・発達さ

	せる企画となっているので基本的には市の負担で、拡充した部分について支援をしていただけたらと思う。
丸山委員長	ほかに御意見等無いようであれば、これにて終了する。